

奈良佐保短大最後の入学式



入学式に臨む最後の新入生ら（奈良佐保短大で）

県内の大学などで2日、入学式があり、新入生らの学生生活が始まった。今春の入学生を最後に募集を停止した奈良佐保短期大（奈良市）では、2学科で過去最少の62人を迎え入れた。

1931年、奈良女子高

等師範学校（現・奈良女子大）の同窓会佐保会が佐保女学院として開き、2001年に共学化して現名称に。卒業生は約1万8000人に上るが、少子化や4年制大学志向の高まりで、近年は定員割れが続いた。式では、池内ますみ学長

が「積極的に問題を発見し、解決する学びを深めて」と激励。代表して宣誓した奈加優芽音さん（18）は「最後の新入生と知った時は驚いたが、少人数ならではの先生との距離の近さをいかして学びたい」と語った。